

講義科目名称： 老年高度看護援助論Ⅱ

授業コード： 6630701200

英文科目名称： Advanced Gerontological Nursing CareⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 老人看護CNS必修
担当教員			
◎小長谷百絵、神田清子、原等子、古澤弘美、内山しずか、大戸奈穂子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間			
	【担当教員】				
	【氏名】 ◎小長谷百絵 原 等子 神田 清子 古澤弘美 内山しずか 大戸奈穂子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 長岡崇徳大学 長野市民病院訪問看護ステーション 新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課	【研究室】 213 303 319	【メールアドレス】 konagaya@niigata-cn.ac.jp naohara@niigata-cn.ac.jp kkanda@niigata-cn.ac.jp	
	【大学の科目区分】 専門分野				
	【DP1】 ○	【DP2】 ◎	【DP3】 ○	【DP4】 ○	【DP5】 ◎

到達目標	1. 我が国と海外の高齢者保健医療福祉制度・政策の変遷と動向を知識基盤に、超高齢多死社会を迎える我が国の高齢者保健医療・福祉政策（看護師・介護人材の確保の在り方を含む）のあり方を探究できる。 2. 高齢者を地域で支援するための地域包括システムの現状と課題およびそれを実現するための専門職（多職種）連携・協働やその教育の現状と課題を追究できる。 3. フォーマルサポートとインフォーマルサポートの概念・種類およびメリット・デメリットを説明できる。 4. 高齢者の保健・医療・福祉の制度・政策の策定プロセスを学修し、政策提言者としての高度看護実践者の役割を追究できる。
------	---

授業概要	高齢者の保健・医療・福祉制度・政策の変遷と動向について、海外（欧米・アジア圏）について学修し、世界に類を見ない速さで少子高齢化、多死社会を迎える我が国の高齢者保健・医療・福祉のあり方を追究する。とりわけ我が国で推進している地域包括システムの現状から課題を見出し、高度看護実践者としての役割を探索する。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：授業のガイダンス 学修内容：・授業の目標・内容・方法（進め方）・評価方法、受講・課題・資料配布等のルール、参考図書および単元担当者などについて 備考：小長谷 原
	2-3	授業内容 授業形態：講義（＊注意） 学修課題：高齢者保健医療福祉に関する制度・政策策定のプロセスと高度看護実践者の役割 学修内容：・政策形成過程とステークホルダー ・政策策定のエビデンスとプロセス ・政策・法令の施行と財源 ・看護政策と看護行政の実態 備考：神田
	4-5	授業内容 授業形態：講義 学修課題：海外における高齢者保健医療福祉制度・施策の現状と課題 学修内容：・アメリカ・ドイツ・フィンランド・イギリス・スウェーデン・オーストラリアなどにおける高齢者保健医療福祉制度・政策の変遷と動向および課題 ・アジア圏（中国・韓国・台湾・シンガポールなど）における高齢者保健医療福祉制度・政策の変遷と動向および課題 備考：小長谷 原
	6-7	授業内容 授業形態：講義 学修課題：我が国の高齢者保健医療福祉制度・政策の変遷と動向 学修内容：・我が国の高齢者保健医療福祉制度・政策の歴史的概観 ・我が国の介護保険制度の変遷と動向および課題 備考：小長谷 原
	8-9	授業内容 授業形態：講義 学修課題：保健医療福祉の人材確保の現状と課題 学修内容：・我が国及び本県における保健医療福祉の人材育成・確保対策の現状と課題

	<p>備考： 帆 莉 4/23 II限 講義（看護政策論） 7/9 II限 プレゼン</p> <p>10-11 授業内容 授業形態：講義 学修課題：我が国で推進している地域包括システムの現状と課題 学修内容： ・地域包括システム構築に必要な要素 ・全国・県内の地域包括システム構築の現状と課題 ・地域包括システムをさらに推進するために高度実践看護者としての役割</p> <p>12-13 備考： 古澤 授業内容 授業形態：講義 学修課題：在宅療養高齢者と家族の支援 学修内容： ・在宅看護を取り巻く現状と課題 ・在宅療養高齢者のケアマネジメント ・在宅療養支援における訪問看護師の活動の現状と課題</p> <p>14-15 備考： 内山 授業内容 授業形態：講義 学修課題：専門職（多職種）連携およびその教育の現状と課題 学修内容： ・専門職（多職種）連携と連携教育の定義と方法 備考： 小長谷 原</p>
事前・事後学習	<p>事前学修：地域包括ケアシステムについて復習して授業に臨む 事後学修：講義内容を振り返り各自の看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する</p>
評価方法、評価基準	到達目標1～4について、事前学修状況：30％、授業時の貢献度（討議）：40％、課題レポート：30％により評価する
テキスト	最新の論文や文献を使用するため現時点では指定せず授業内で案内する
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働統計協会：国民衛生の動向（最新版）</li> <li>・厚生労働統計協会：国民の福祉と介護の動向（最新版）</li> <li>・内閣府：高齢社会白書（最新版）</li> <li>・新潟県福祉保健課 企画調整室：新潟県地域保健医療計画（最新版）</li> <li>・新潟県福祉保健課 企画調整室：新潟県の高齢者の現況（最新版）</li> <li>・中島恒雄(2003)：21 世紀の高齢者福祉と医療 日本とアメリカ，ミネルヴァ書房.</li> <li>・李 啓充(2009)：続アメリカ医療の光と影，医学書院</li> <li>・鈴木優美(2010)：デンマークの光と影-福祉社会とネオリベリズム-，リベルタ出版.</li> <li>・木下康仁(1992)：福祉社会スウェーデンと老人ケア，勁草書房.</li> <li>・宇佐美耕一（2011）：研究双書 新興諸国における高齢者生活保障制度-批判的社会老年学からの接近- IDE-JETRO アジア経済研究所.</li> </ul> <p>＊その他、授業の中で随時紹介する.</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は基本的に非常勤の単元以外は、学習課題・内容について学生が事前学習し、レポートを作成して発表し、疑問点や不明点、討議したい内容などについて討議して進めるゼミ形式で行う.</li> <li>・事前学修課題：授業日の前日までに教員に提出（メール可）</li> <li>・授業後のレポート課題：「我が国の高齢者保健医療福祉の今後あり方」</li> </ul> <p>＊詳細は初回開講時にガイダンスする. ＊COVID-19 の感染状況に応じてオンライン授業にする（事前に連絡する）</p>
教員からのメッセージ	<p>世界に類の見ない速さで高齢化が進み人口減少期にいたるわが国の超高齢社会において、長寿で豊かに生きられること、エイジレスに障害の有無にかかわらず活躍できることが理想にかかげられる社会をつくるのが命題となっています。他国の政策をモデルにしつつ、わが国独自の状況を加味した高齢社会のモデルづくりが求められています。地域包括ケアシステム、多職種連携のあり方も探求されています。老年看護学的視点でいかなる政策が必要かつ実現可能か検討し提言できるようにしましょう。</p>
オフィスアワー	随時（メール調整）